

平成30年度 第1回東京都相談支援従事者研修検討会 議事録【要旨】

日時 平成30年5月22日(火) 10時から12時まで
会場 飯田橋レインボービル2階 2A会議室
出席者 佐藤委員、秋元委員、塚田委員、堤委員、杉田委員、池田委員、藤井委員、中島委員、
花形委員、吉澤委員、北川委員
傍聴者 5名
事務局 東京都心身障害者福祉センター 地域支援課長 森下 他7名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none">資料確認 次第 東京都相談支援従事者研修検討会委員名簿 東京都相談支援従事者研修検討会設置要綱 資料1 障害者総合支援法関連研修の検討(案) 資料2 相談支援の充実等について(障害保健福祉関係主管課長会議資料) 資料3 平成30年度障害者総合支援法関連研修 実施スケジュール(案) 資料4 平成30年度東京都相談支援従事者研修検討会年間活動方針及び計画案について 資料5 私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.5本日は、記録のための録音、また傍聴者がいることについてご了解いただきたい。委員の皆様に、委嘱をさせていただく。本来であれば発令通知をお送りするところだが、本日委嘱状を机の上に置かせていただいた。
-----	---

2 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長挨拶

地域支援課長	<ul style="list-style-type: none">東京都の障害福祉行政並びに当センターの事業へのご理解とご協力、また、法人、事業所等での業務でお忙しい中、東京都相談支援従事者研修検討会の委員就任について、感謝申し上げます。31年度から障害者総合支援法関連研修である、相談支援従事者研修及びサービス管理責任者研修、児童発達支援管理責任者研修等のカリキュラムや体系が変更になる。都としては、相談支援を行うすべての事業所に、必要な規模と質の研修を遅滞なく提供する準備をしているが、カリキュラムの準備をしていたのが、この検討会の目的。 今年度は、本検討会と同様に、サービス管理責任者等研修検討会も立ち上がっており、2つの検討会で、31年度実施の研修内容をご検討いただく。検討会の活動については、東京都自立支援協議会に報告をするほか、当センターのホームページで公開し、発信予定。今年度の検討会の役割は、具体的には、この後、活動計画案等を事務局から提案させていただくが、相談支援専門員とはどのような人材なのかを明らかにし、その人材を育成するプログラムとして、初任者研修、現任研修をまず作成していただきたい。東京都の研修を実施する際には、多くの講師等を養成する必要がある、指導者養成のカリキュラムについてもテーマとなると考えている。
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援の場で、優れた実践を行っていただいている皆様に、東京都らしい、質の高い相談支援専門員の像とその育成プログラムをご提案いただけることを期待している。
--	--

3 委員紹介

○自己紹介

各委員	(省略)
-----	------

○委員長の選任

堤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・佐藤委員を推薦する。 ・町田市の障害者施策推進協議会の相談支援部会で、私が部会長、佐藤委員が職務代理を担っている。現場の人が多くの中で唯一の学識経験者という立場から、俯瞰的に意見をまとめたり、当事者や家族の立場に寄り添った発言もいただいている。検討会でも俯瞰的な立場からの取りまとめをしていただくのに最適と考える。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・承認する。

○副委員長指名

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・3名の方をお願いしたい。 ・チームで検討していくのでチーム編成が決まってからでよろしいか。
各委員	<ul style="list-style-type: none"> ・承認する。

○委員長挨拶

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間微力ではあるが、皆さんにご指導いただきながらこの会を行っていきたい。
-------	--

4 検討事項

(1) 制度改正情報の確認

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2説明
-----	--

(2) 年間研修実施計画、検討会年間活動方針及び計画案について

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3、4、5説明
-----	--

(3) 意見交換

○チーム編成について

佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会は年間10回で予定されている。 ・なぜチームに分かれての検討なのかという、やらなければならないことが山積している状況のため、より小回りのきく形で進めていきたいため。 ・検討会の日程についても、大枠が示されてはいるが、流動的にしていきたい旨、事務局より説明があった。 ・先にチーム編成を決めた上で、年間スケジュール等について意見交換をしてい
-------	--

	くのはどうか。
吉澤委員	・障害領域別に委員が選考されているので、まずは各領域の委員でチームに分かれていくのはどうか。
花形委員	・専門員の姿チームは、8月までが専門員の姿チームに所属をし、8月以降は初任か現任チームに所属するという理解でよいか。
杉田委員	・途中からチームに合流するのは難しいのではないか。
花形委員	・演習指導者養成研修を8月までにとりまとめるとなると、他のチームに所属しながら検討するのは厳しいのではないか。
塚田委員	・初任・現任チームは、動き出しが後半の方になるので、活動時期は多少ずれるのではないか。
北川委員	・今年度の検討会では、新カリキュラムの作成が主な課題。そのためにはあらゆるものをかき集めて今年度中にはめどをつけなければならない。なので、国研修後にはすぐに動き出す必要がある。
佐藤委員長	・チームの動き出しについては、チーム編成決定後改めて考えていくこととする。

○チーム編成の決定

	<p>初任者研修： 杉田委員（リーダー）、池田委員、堤委員、花形委員</p> <p>現任研修： 吉澤委員（リーダー）、藤井委員、堤委員、北川委員、秋元委員</p> <p>専門員の姿： 北川委員（リーダー）、塚田委員、中島委員、佐藤委員長</p>
塚田委員	・初任チームと現任チームでは、どちらが検討内容が多いのか。
吉澤委員	<p>・新たな項目を考えるという意味では、現任チームの方が多いかも。</p> <p>・新現任カリキュラムに入っている「コミュニティワーク」や「グループスーパービジョン」が、現在の現任研修には入っていないので新たに考えていかなければならない。初任者研修は、個別事例について考えていければよいのではないか。</p>
佐藤委員長	<p>・チーム編成については、これで決定とする。</p> <p>・スケジュールについては、専門員の姿チームは8月まで大きな動きがあるので、その後、3月まで初任・現任チームを兼任していくという形でいきたい。</p> <p>・専門員の姿チームが8月で解散というわけではなく、年間を通して継続という形にはなる。</p> <p>・動き出してみたら、また分かれていくという理解でよろしいか。</p>
各委員	承認
佐藤委員長	・先ほど副委員長は3名ということにしていたが、各チームの取りまとめ役の方（リーダー）を副委員長として指名したいがよろしいか。
各委員	承認

○年間スケジュール等検討

佐藤委員長	・チームでの検討内容について共有していきたい。
杉田副委員長	<p>(初任者研修検討チーム報告)</p> <p>・7月6日の検討会が国研修報告の会となっているので、そこでチームとしてやるべきことを整理して、その後のスケジュールを決めていくこととした。</p> <p>・国研修が終わってこないことにはわからない。</p> <p>・3月末までに、次年度すぐに使えるようなものにまで、成果物として挙げてい</p>

	<p>きたいので、なるべくすぐに動き出していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのために、7月6日の検討会后、引き続きチームの集まりを設けようと思っている。 ・第4回検討会が8月7日だが、第5回が10月下旬となっている。この間も全体での共有、進捗状況報告、チームでの活動等必要ではないか。他チームと日程が合うのであれば、この間にもう1回全体で集まりたい。
吉澤副委員長	<p>(現任研修検討チーム報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確認だが、年間10回の会が正式なものとして設定されているが、チームごとの任意の集まりを妨げるものではないという理解でよいか。もし、チームの集まりもこの正式な会の中に含まれるということであれば、日を動かすということはできるのか。 ・スケジュールとしては、国研修が終わってみたいことにはわからないというものもあるが、情報が新しいうちに動きたいという思いがある。しかし、検討会は第4回から5回までの時間が長く空くので、このあたりも隙間のない形で進めていきたいという話が出た。 ・もしチームの任意での集まりが認められるのであれば、国研修の蓋を開けてみないとわからないということも踏まえながら、正式な検討会以外でも検討していく必要があるかもしれない。 ・検討会の日をずらすというのであれば、2・3月に予定されている回の1回分を、8・9・10月のどこかに持っていきたい。
北川副委員長	<p>(専門員の姿チーム報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門員の姿 Ver.5.6 から 6 への更新は、5.6 まである程度やり切った感はあるので、国研修で新たに取り入れなければならないことが出ない限り文言整理にとどめたい。去年ワーキングを行い、東京都の歴史から始まり、かなり作ってきた。今年度4人でやれるのかということとそういうものではないと思っている。 ・専門コース別研修テーマのリストアップは、去年も少し行ったが、今年も順次行っていく。 ・演習指導者養成研修は、去年は試行的実施だったので独特の流れがあったかと思う。どういう方向性がこの研修に必要なのかということ整理していく必要がある。 ・8月7日の検討会までは全体会で行われるので、それまでチームで話し合う機会が一度もない。他に何回か会う必要があるのではないかという話が出た。 ・8月7日までにまとまるのかという不安もある。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールや動きなどについて意見が出たが、事務局としてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・活動計画については、あくまでも案なので、1年間どのようにしていくと活動しやすいかという観点で決めていただいて構わない。 ・都としてはこの10回を正式な検討会として定めたい。 ・委員のスケジュールもあるので、予め日時が決まっていた方が良くかと思ひ、仮置きしたと考えていただきたい。提案した日程については、会場も確保してある。 ・全体会とチームの関係については、チームでの作業も大事だが全体で確認することも大事であり、行ったり来たりしながら行うことが、チームとしてよりたくさんの方の意見を検討したり決めていくことができることにつながるといったご意見が昨年あった。そのとおりで思ったので、要所要所で全体会形式をとる

	<p>こととした。また全体会で行った回は、資料や議事録を公開していきたいと考えている。全体会の時期については、本日のご意見により決めたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討会の第8回から10回の日程が詰まっているということであれば、その分を、今の案では検討会のない9月に持ってくることは可能。ただし、7月・9月・1月については、まさに今年度の研修を行っている最中であり、委員の皆さんにはファシリテーター等をお願いする予定。事務局も研修運営が入るので、検討会を開催しづらいという事情もあった。 ・第2回検討会は国研修準備、第3回は国研修報告ということで考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現任チームから、チームの集まりについても質問が出ていたが、全10回は固定するという事は事務局からの説明があったとおり。 ・他チームからも意見が出ていたが、年度後半の検討会を動かすのは、10回の中では可能であるという理解でよいか。 ・任意の集まりについては、メールでのやり取りはあると思うが、打合せという形で行うことについては、事務局としての見解はどうか。委員それぞれ本業を抱えている中での作業になるので、都の心配としては、負担にならないようにということをお前提に進めてほしいというのもあると思うが、一方でカリキュラムを作るとなると、任意の動きというのも出て来るかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開催については、10回で行うつもりで検討していただきたい。 ・チームの考え方について、国研修受講修了者の意見をもらいながら検討会を進めて行くことについては、要綱上も明記されている。 ・なるべく10回の中で行うこととし、どうしてもとなった場合は、その都度相談していくということではいかか。実際には時間を割いて集まっていただくのは大変な負担になると思う。10回の中でできるだけ進めていただくよう都としてはお願いしたい。
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「全10回」については、チームごとに日が異なっても構わないのか。全体会の時間が決まっているのであれば、簡単な打合せであればその前後でできると思うので、そういった融通はきくのか。
吉澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、7月6日の全体会の日を、前半1時間を全体会、後半をチーム活動という使い方をすることもできるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会前後の時間の使い方については、会場の確保状況にもよるので、その都度ご相談しながら、チーム活動がスムーズに行くような協力はしていきたい。 ・名称としては検討会第1回から10回まで、日時を固定したところを軸に考えたい。 ・全体会の使い方については、全体で議論、次にグループで話し合いをし、また全体に戻って確認し合うということであれば、そういった形式の会議として開催することはできるし、内容は公開することができる。
花形委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国研修受講修了者の協力は、どのタイミングでもらうのがよいか。検討会委員だけのチームでカリキュラム作成をしていくのは難しい。国研修受講修了者の巻き込み方についての見解はいかか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・要綱第三の2にあるが、既国研修受講者に意見を求めて研修作りを検討することができるとしている。この方達には10回のスケジュールもお示しして、そこに合わせて協力できる方に協力していただきたいと考えている。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会10回については、目に見える形で公開していかなければならないこと

	を押さえていただきつつ、方向性を練りながら走り出していきたい。
堤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・開催の意見ということであれば、開催は午後を希望。障害当事者が朝早く電車での移動は負担が大きい。
佐藤委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・時間帯やメール配信等含めて、事務局で検討していただきたい。 ・第2回はチームごとの検討の場も設けるということで、各チーム予定をしていただきたい。 ・ひとまず資料4の日程を進めていくということでした承いただきたい。 ・全体会は4回予定しているが、この回は議事録及び資料等が公開予定となっている。要綱上も記載されている。多くの方に広くこの会が認めていただけることにもなる。了承いただきたい。 ・以上で進行を事務局へ返す。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日程についての要望は承ったので、全10回については整理してなるべく早くお伝えし、通知もお出しする。 ・第2回までの間に、今回の会議の内容については、「議事要旨」という形でまとめる予定。まとまったら確認をお願いしたい。 ・検討会のメーリングリストについては、今年度版を作成予定。こちらも活用していきたい。 ・次回の検討会については、事前に資料を読み込む、ご意見をいただくといったこともあるかと思うが、協力をお願いしたい。

5 閉会